

# 更紗と詩響き合い

## 向日で青木寿恵企画展



青木寿恵さんが愛用した着物「銀河辻ケ花」。星空をイメージしたという＝向日市寺戸町

染色作家の故・青木寿恵さんの手になる更紗と詩を鑑賞する企画展が、向日市寺戸町の寿恵更紗ミュージアムで開かれている。自然の中の小さな生命に愛情を寄せた作家の、素朴で純粹

な人柄を伝えている。青木さんは、草木や虫など天然素材の染料で麻や結城紬に手描きする「寿恵更紗」と呼ばれる独自の技法を確立した。2010年に84歳で亡くなるまで創作活

動を続け、国内外で高い評価を得た。身近な自然を題材に詩作にも取り組んだ。

企画展には着物や帯、タペストリーなど42点と詩のパネル15枚が並ぶ。鮮やかな紺や黄、緑の地にチヨウや花を細やかに描いた更紗の着物と、道端の草花や虫に寄せた詩が響き合う。

31日まで。月曜休館。一般500円、高校・大学生350円、中学生以下無料。問い合わせは寿恵更紗ミュージアム（075・934・6395）へ。